

※今月のみ受注の書目です。

朝鮮史／ジェンダー

植民地朝鮮と「出産の場」

産婆と胎教の衛生史 (2025年2月中旬刊行予定)

扠素妍 (京都大学大学文書館特定助教) [著]

A5判上製／288頁 税込予価 5,280円 ISBN978-4-7664-3011-0 C3022

👉ココに注目!

- ・植民地朝鮮の「出産の場」から、近代の衛生・女性史を紐解く。
- ・日本統治下における産婆や胎教の普及を明らかにする。
- ・出産をめぐる風習の言説分析を通して朝鮮社会の様相を論じる。

日本統治下にあった20世紀前半、朝鮮の「出産の場」、特に産婆や胎教がいかに存在し機能していたのかを新聞記事などの資料から検討し、朝鮮人産婆の活動や社会的地位、胎教という出産風習をめぐる朝鮮社会の様相を浮かび上がらせる力作。

対象 (植民地史／ジェンダー研究を専攻する) 研究者

類書 林采成『健康朝鮮』(名古屋大学出版会)

【営業部からのおすすめポイント】

植民地期朝鮮における「出産の場」が、総督府の政策などによってどのように管理され、現地の風習とせめぎ合ったかを明らかにします。医療史・衛生史研究でも十分に用いられてこなかった新聞記事やインタビューなどの資料を通して「産婆」と「胎教」の実態を検討し、出産する女性の身体を起点に、女性の歴史叙述を「取り戻す」ことを試みた重要な一冊です。

(吉川)

👉目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

序章 「出産の場」の生政治

- 1 研究背景——産婆と胎教の位置づけ
- 2 研究方法——フォーコーの「生政治」と「言説」、そして〈現実〉
- 3 研究史——「出産の場」を支える四つの柱
- 4 研究目的——植民地朝鮮の「出産の場」を解明する
- 5 本書の構成
- 6 本書における用語と記号の定義

第一部 出産風習と産婆制度

第一章 植民地朝鮮における出産風習と産婆養成政策

はじめに

- 1 近代日本の産婆制度と植民地への移植
- 2 朝鮮の出産風習
- 3 日本人衛生医療関係者の見た朝鮮の出産風景
- 4 植民地朝鮮における産婆養成

おわりに

第二章 朝鮮人産婆の労働環境と社会的位置づけ ——1920年代の新聞・雑誌に見る産婆の物語

はじめに——職業婦人としての産婆

- 1 植民地期女性の職業としての産婆
- 2 産婆が語る労働〈現実〉
- 3 1920年代の産婆の経済的・社会的位置

おわりに

第三章 産婆と風習の間の葛藤、そして出産医療の〈現実〉

はじめに

- 1 「旧慣」を駆逐し、産婆を利用せよ
- 2 伝存する出産風習と衛生との葛藤
- 3 産婆が語る朝鮮社会と「出産の場」の様子
- 4 京城の都市貧民を取り巻く出産医療の〈現実〉

おわりに

第二部 胎教と生政治

第四章 出産風習としての胎教と「優生学」言説

はじめに

- 1 前近代の胎教と植民地朝鮮における伝存
- 2 一九三〇年前半の優生学と胎教
- 3 1930年代後半の胎教を取り巻く論争

第五章 韓半島にもたらされた「近代の知」と胎教 ——女性教育、民族改造、〈朝鮮学〉振興運動

はじめに

- 1 「女性教育論」と胎教言説
- 2 植民地期の「民族改造論」と胎教
- 3 女性医師・許英肅の民族改造論と胎教
- 4 1930年代後半の「〈朝鮮学〉振興運動」と『胎教新記』

おわりに

終章 近代化する「出産の場」と女性

- 1 生き残った出産風習と植民地朝鮮の近代
- 2 「出産の場」を眺めるということ——本書のまとめ

註

あとがき、文献一覧、索引



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		扨素妍 著	5,280 円	★★
		植民地朝鮮と「出産の場」 —産婆と胎教の衛生史 ISBN978-4-7664-3011-0 C3022		

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください!）

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
返品条件付注文品		崔誠姫 著	2,860 円
		女性たちの韓国近現代史 —開国から「キム・ジョン」まで ISBN978-4-7664-2989-3 C0022	